

第2回交野市生涯学習基本計画推進委員会議事録

日時:令和4年3月22日(火)13:30~15:00

場所:交野市立青年の家202号

出席委員:門脇薫委員・北村安揮男委員・島田喜次委員・中盛夫委員・蒲田秀佳委員

事務局:本多章博生涯学習推進部次長・村上務社会教育課長・川口晶子社会教育課係長

委員長	第2回交野市生涯学習基本計画推進委員会を開催 本日の委員出席情報の報告
事務局	本日の出席委員は、5人中、4人出席しており、委員会条例第6条第2項の規定により本会議が成立していることを報告
委員長	交野市会議の公開に関する指針に基づき、公開 → 傍聴なし 案件2)交野市生涯学習基本計画中間見直し(案)について事務局説明
事務局	交野市生涯学習基本計画中間見直し(案)をまとめたものを説明
委員長	計画についての意見
委員長	地域活動、ボランティア活動に関心があります。コミュニティスクールというのはすごい計画で興味深い モノシェアリングというのは何ですか？
事務局	他市や他府県では進められています。長宝寺小学校は各1クラスしかなく、老朽化も踏まえて中学校ひとつと小学校ふたつを統合し、コミュニティスクールを導入の話となった モノシェアリングは、市が所有している備品を団体へ貸出するもの
委員	無償ですか？有償ですか？
事務局	無償です 限られていますが、ホームページに貸し出しできる物の一覧があります
委員長	私が住んでいた市では、おもちゃの貸し出しがあって、子育ての時に借りに行ったことがあります。 あとは国際交流協会に民族衣装を借りたこともあります。留学生が民族衣装を持っていないこともあり、講師として行く時に民族衣装がないから借りたり、日本人の学生が民族衣装を着てみたいと言うので、交流する時に借りた経験がありますが、民族衣装はないですね
事務局	無いですね

委員	アンケート意見で動画サイトがあればという声もありましたが可能でしょうか
事務局	教室でも動画を YouTube に上げたりはしているものの、編集する作業に時間や労力が掛かってしまって簡易にはなかなか難しい
副委員	学習なので教えてもらうようにしないといけない。やっぱり実際に来てもらわないと無理ですね、スポーツだったら。やり方を言葉で説明したところで、体操ぐらいかもしれない それで興味を持ってもらって一回来てくださいというようなのが一番良い
事務局	スポーツで言えば恐らく、やっているところを映してそこに興味を持ってもらうというのも一つなのかなという風に思いますね。ただこれを実際問題、運用していくとなるとなかなか難しいところがある
委員	LINE とか、いろいろと載せることが流行っている。クラブで活動している写真を流してもらったが、顔が写るのが嫌 自分はこうしたいが、写っていないからこれは嫌だとか、やはりいろいろある。誰かわからないなら良いでしょうが…良いから載せても本人が嫌だという場合もある。その辺がちょっと難しいかなという感じです。できるだけ特定できない形のものが一番無難
委員長	やはり体験するというのがスポーツでは一番良いのでしょうか。前回そんなお話がありましたよね、初めての人も体験をするような…イメージを作って関心を持ってもらうために。それが【きっかけ作り】とかそういうことなんですよ。それで動画が上手く使えれば良いのですが
委員	コミュニティスクールというのは一中校区だけ取りあえず、ということですか
事務局	そうですね。令和 7 年には一中から四中まで全地区で目指してはいますが、まずは令和 4 年に交小と長小が統合されるので一中校区からスタートです。そこで実証を重ねていって 7 年でいけるかどうかなのかというところです
委員	このコーディネート機能を持つというのはどんな？
事務局	コミュニティスクールであれば、学校と地域の方との役割がコーディネーターさんという方たちや、いろいろ登録して頂いている方たちですが、これからの学校は地域の方と一緒に、地域の方が学校に入って頂いて、一緒にしていこうということで、地域の繋がりがいろんな方と繋がるということです。今、交野市でもコーディネーターがいっぱいやるが、まだまだ数も少ないですし、される方が偏ってきているので、もっと皆さんに協力・参加して頂きたい
委員長	それが地域人材の発掘ということですよ。地域、世代間との交流が実現できるということを狙っておられる素晴らしいですね。

委員	最初に私が一番感じたのは課題がたくさんある。課題がどういうことか、具体化して実施するのはどうなのか。教育委員会の中にも課がたくさんある。例えば高齢介護課とか、そういう所のデータや組織はどうなっているのか。同じ課であれば集めてすぐできるが、それが交野市の組織自体にもそういう所はありますよね。一つの所がやろうと思ったら、横型にしないといけない一つにまとめられるのか
事務局	生涯学習というものは広いので、教育委員会だけが進めているわけではない。他の部署にもかかっているが、今言われたように頭を一つということになると、教育委員会職員も市の職員なので市長になるかと思う。ただ、やはり生涯学習基本計画の担当部局は社会教育課なので、それぞれの課に『こういう意見があった、何か改善できる点はないか』と持って行くコーディネイト役になっていかないといけない。もちろん、社会教育課は社会教育課の事業があるので、その部分については社会教育課として考えなければならない。頭一つできっちり回していくよりは、その中間役は社会教育課が担うべきかと思う
委員長	その役を社会教育課がやって、あとで他の部署が連携・調整しながら進めていくということですね。その名前が出るわけではないが、実際はやってくださるということですね
事務局	やっていかないと駄目だと思います。それぞれの担当部署というものがどうしてもあるので、そこにやってもらわないといけないが、こういった問題点が市民から出ていることを伝えないといけない。それについて情報の共有はしていかないといけないと思います
委員	この中でよく見たら 100%を超えるものがあるが、どういうことか
事務局	回答が一つでなく複数なので、100%にはならない
委員長	100%にならないのは複数回答ありということで。どこかに『複数回答あり』とか書いておけば良いのかなと思いましたが、書くところは無いですでしょうか。 もしかしたら数字に敏感な方から同じご指摘があるかもしれない
事務局	記載する
委員長	総合型地域スポーツクラブというものができれば繋がりやきっかけの場になると、ここにまとめられているようにあるが、体験する場になるでしょうか

委員	総合型スポーツクラブという体制ができれば、みんな縦でなく横で動けると思う。体験型のクラブをつくって市民誰でも入って体験してもらおう。やりたいものを自分で選んで次の段階へ、スポーツクラブに入ってやって行くという形。スポーツだけに限定するとスポーツが嫌いなら何もできないから、文化活動や他にも社会活動とかいろんな活動を体験できるクラブ、そういう場を市民に提供する。そういう総合型のクラブができれば、体験して発見ができる。スポーツなり文化活動なりをそうして、もっと飛躍させていくと、全く関心がなくて一年何もしなかったという人は無くなるような感じがする。何かをすることで人間は元気になれる。動くということで元気がもらえて、その皆さんの元気をもとにいろんなことをやっていくと、いろんな地域でのコミュニケーションができるのかなと。全体的に上手く回り出すのでは。何かやる時にちょっと声を掛けると「いや、俺はできない」で終わってしまう。そうではなく、体験できるから一緒に行こう。そういう場を上手く使って引っ張っていければ、今までやりたいけれど壁がいっぱいあってできなかったというのが、壁が取れて動き出すのかなという感じがする
委員長	ありがとうございます。 答申書を教育委員会へ提出しますので、今から事務局が作成します
	10分休憩
委員長	答申書の内容を確認していただき付帯意見として何かございませんか？ → なし なければ教育委員会へ答申させていただきます これをもちまして、第2回交野市生涯学習基本計画推進委員会を閉会いたします